

第7週の発生動向 (2005/2/14~2005/2/20)

- インフルエンザについては、青森県全域において注意報が出されました。
- 感染性胃腸炎については、依然として多い報告数を維持しているため引き続き注意が必要です。
- 水痘については、五所川原保健所管内において注意報が出されました。

第7週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	定点数			
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		青森	弘前	八戸	五所川原
(72) インフルエンザ	132	10.15	210	13.13	395	28.21	148	21.14	230	25.56	65	10.83	1180	18.15	633				
(60) 咽頭結膜熱			1	0.09			1	0.20			1	0.25	3	0.07	-5				
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15	1.88	31	2.82	16	1.78	1	0.20	4	0.67	3	0.75	70	1.63	-5				
(62) 感染性胃腸炎	53	6.63	31	2.82	24	2.67	7	1.40	19	3.17	28	7.00	162	3.77	-9				
(63) 水痘	17	2.13	15	1.36	27	3.00	26	5.20	12	2.00	5	1.25	102	2.37	43				
(64) 手足口病					6	0.67			6	1.00	1	0.25	13	0.30	-7				
(65) 伝染性紅斑	1	0.13			1	0.11							2	0.05	-2				
(66) 突発性発しん	5	0.63	7	0.64	4	0.44			5	0.83	4	1.00	25	0.58	13				
(67) 百日咳																			
(68) 風しん															-2				
(69) ヘルパンギーナ															-3				
(70) 麻しん(成人を除く)																			
(71) 流行性耳下腺炎	4	0.50	1	0.09	7	0.78	4	0.80					16	0.37	9				
(73) 急性出血性結膜炎																			
(74) 流行性角結膜炎					3	1.50	2	2.00					5	0.45	2				

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	基幹
青森	13	8	5	2
弘前	16	11	5	3
八戸	14	9	5	2
五所川原	7	5	2	1
上十三	9	6	3	2
むつ	6	4	2	1
合計	65	43	22	6

■ は警報です。 ■ は注意報。 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (17年計には、今回届出された人数を含む)

- (80) 細菌性髄膜炎 (五類基幹定点把握疾患) 青森保健所管内: 1人 (17年計 1人)
- (82) マイコプラズマ肺炎 (五類基幹定点把握疾患) 八戸保健所管内: 1人 (17年計 17人)

病原体検出情報

弘前保健所管内の医療機関において 2 月中旬に発生した感染性胃腸炎患者からノロウイルス Genogroup (G) が検出されました。

感染症の啓

インフルエンザ

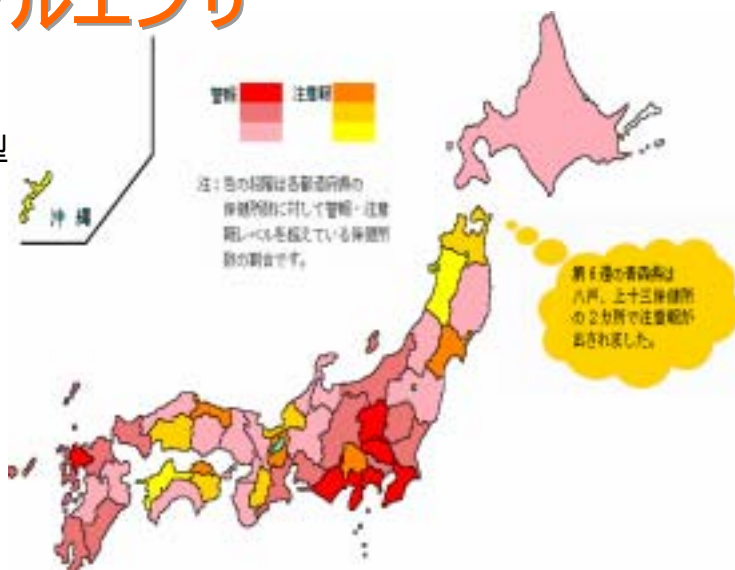
国立感染症研究所感染症情報センターによると、第5週までに全国で報告されているウイルスの型はA/H1N1(ソ連)型74件、A/H3N2(香港)型229件、B型382件となっています。

感染予防 (予防接種以外)

- ・ 外出後の手洗い、うがいに努める。
- ・ 室内の適度な加湿、換気に努める。
- ・ 規則正しい生活と休養が大切。
- ・ バランスのとれた食事と水分の補給。
- ・ 必要な時以外は人込みへの外出を控える。

注意

高齢者や小児などの年齢層の方が罹患すると脳炎や肺炎などを併発し、入院となるなど重症化することがあるため早めに医療機関を受診しましょう。



インフルエンザ流行レベルマップ(第6週)

(出典: 国立感染症研究所感染症情報センター)